

令和元年度 福祉教育活動推進校一覧

※活動目標及び主な活動内容は各校の計画書より抜粋

| No. | 学校名 | 活動目標 | 主な活動内容 |
|-----|--------|---|---|
| 1 | 横手南小学校 | ◇社会福祉への関心や理解を深める。 ◇他人を思いやり、あたたかい人間関係を大切にする「福祉の心」を育成する。 ◇児童生徒が主体になったボランティア活動などの体験的な活動を実践する。 | ◆「福祉」とは？についての学習 ◆障がい者や高齢者の置かれている現状を理解するための疑似体験 ◆校外にある福祉に関係ある施設等の理解（道路や公共施設等） ◆各施設等でのふれあい体験活動 |
| 2 | 旭小学校 | ◇体験や講話を通して障がいのある人々や高齢者の思いや願いを知り、福祉について考える。 | ◆聴覚障害のある方のお話を聞き、聴覚障害者の生活を知る。 ◆コミュニケーションの手段としての手話を学ぶ。 ◆視覚障害者体験、高齢者疑似体験を通して当事者の気持ちやコミュニケーションの取り方を考える。 ◆点字板を使って実際に点字を打ち、点字についての理解を深める。（国語との関連） ◆車いす体験を通して、車いすを使っている方の日常生活を知る。 |
| 3 | 栄小学校 | ◇夢や目標に向かって、子どもと教師と地域が、共に高まる学び合いの実現 | ◆小・中合同地域ボランティア活動（地域の花壇の除草、クリーンアップ） ◆祖父母、お世話になった方とのふれあい行事（学習発表会、収穫感謝祭） ◆高齢者とのふれあい交流（グループホームりんご村） ◆地域へあいさつ活動（小・中合同、民生児童委員と一緒に） ◆地域の行事への参加（ミニかまくらづくり） |
| 4 | 横手北小学校 | ◇地域における福祉の現状と課題等を学ぶことを通して、自分と地域とのつながりに気づき、地域と進んで関わろうとする。 ◇体験したり調べたりして気付いた思いや考えを、様々な表現方法でまとめたり伝えたりすることができる。 | ◆福祉に関する学習会 ◆聴覚・視覚障がい者からの講話と疑似体験 ◆福祉施設等（やすらぎの苑、ビハーク横手）の訪問による体験活動 ◆なべっこ会への招待（祖父母、地域の方々） ◆校外の美化活動とリサイクル活動 ◆保護者や地域に向けた学習成果の発信 |
| 5 | 増田小学校 | ◇他者やものを大切にする心を育むとともに、互いに助け合い支え合い「たくましく生きる力」を培う。 | ◆福祉施設や地域の保育園との交流を通して、思いやりの心の育成を図る。 ・保育園との交流（1・2年生） ◆高齢者や障がい者についての理解の促進を図る。 ・障がい者・高齢者に関する学習会（4年生） ・一人暮らしの方への手紙活動（全校） ◆校外の美化活動を地域行事への参加を通して、物を大切にする心 地域を大事に思う気持ちの醸成を図る。 ・花いっぱい運動、全校縦割り清掃、梵天まつり（全校） |
| 6 | 浅舞小学校 | ◇ひまわり栽培、絵画制作、収穫、ひまわり油づくり、ひまわり油販売、他校との連携など、ひまわりを通じて人と関わる体験活動を通して、自然や地域の人々のよさを感じ、ふるさとを大切にする心情を育てる。 | ◆5年生を中心に、全校でJA秋田ふるさと青年部や浅舞街部地区会議、田中ボランティアなど地域の方々といっしょにひまわりの種まきから収穫・ひまわり油の販売までを行い、その収益で福祉施設へ寄贈するひまわりプロジェクトに取り組んでいる。「学校から地域へ元気をあげたい」「地域から元気をもらいたい」という学校経営の願いを具現化したもので、地域の方々と楽しい交流をしてきている。平鹿中学校区内小・中学校や横手支援学校、保育園にも活動の輪を広げ、PTA活動の一つとしても協力・支援しているので、平成31年度もさらに活動を充実させていきたい。 |
| 7 | 雄物川小学校 | ◇アルミ缶回収活動による車椅子贈呈や福祉体験活動、赤い羽根共同募金活動を通して、福祉の心や実践的な態度を育成する。 | ◆アルミ缶・プルタブ回収活動・回収したアルミ缶、プルタブを換金して、車椅子を購入し、地域の施設に贈呈する。 ◆福祉体験活動（4年生） ◆赤い羽根共同募金の実施と街頭募金活動への協力 ◆清掃がない日の朝清掃。 |

| No. | 学校名 | 活動目標 | 主な活動内容 |
|-----|----------|--|---|
| 8 | 大森小学校 | ◇自分の身近な人たちや、自分の住んでいる地域の人々とのふれ合い体験やボランティア活動を通して、相手を思いやる気持ちを育てる。 ◇福祉体験活動を通して、障がいのある人たちや高齢者などの立場を思いやり、互いに支え合う心を大切にして自分たちのできることを考えられるようにする。 | ◆地域のお年寄りの方々や身体が不自由な方とふれ合う。 ◆地域内の福祉施設を訪問して、ボランティア活動を実施する。(1・2年生1回、3～6年2回、年間10回実施予定) ◆高齢者や障がい者とのふれ合いや疑似体験活動を通して、高齢者や障がい者の身体的特徴や接する時のマナーや技能について理解する。 ◆地域クリーンアップ活動を実施する。 |
| 9 | 十文字第一小学校 | ◇高齢者・妊婦等の疑似体験や介助体験及び高齢者・障害者との農作業や加工作業等を通して自分自身を見つめ、他者への思いやりをもって生活したり、進んで地域の人々と関わったりしようとする意欲や態度を育む。 ◇地域の農産物を基にした商品開発や販売体験を通して地域の人々と積極的に関わろうとする意欲や態度を育む。 ◇地域の保育園、保育所との交流やお世話活動を通して、思いやりの気持ちを持って園児と関わろうとする意欲や態度を育む。 | ◆互いを思いやったり、共に働く喜びを感じたりしながら、福祉施設の入所者と一緒に農作業体験をする。 ◆地域における福祉の現状を調べる活動や高齢者・妊婦の疑似体験及び介助体験を通して、自分たちの住む地域の福祉についての課題やよさについて考える。 ◆収穫した農産物から開発した商品の宣伝方法の改善についてアイデアを出し合い、新商品の開発・販売に取り組みや販売体験活動を通して、地域住民の方々と積極的に関わる。 ◆学校行事に園児を招待し、なべっこ会での会食や体験入学でのお世話活動を行う。 |
| 10 | 十文字第二小学校 | ◇地域の人々や地域の施設等に積極的に関わろうとする態度を育てる。 ◇障害のある方々やお年寄りの方々への理解を図り、だれにでも優しい気持ちで接しようとする態度を養う。 | ◆6年→地域の保育園や福祉施設などを対象に交流活動や奉仕活動を行う。 5年→自分たちで育てたもち米を福祉施設に寄贈する。 4年→障害者やお年寄りの方々の疑似体験をする。また福祉施設で交流活動を行う。 3年→地域の特産品のさくらんぼを育てている方々に自分たちのできることで協力する。 1. 2年→保育園の園児を小学校に招き、交流活動を行う。 |
| 11 | 植田小学校 | ◇地域の一人暮らしのお年寄りなどとふれ合ったり、地域への奉仕活動を行ったりする活動を通して、弱い立場の方に寄り添う姿勢を身に付けさせるとともに、地域社会に役立つ喜びと更なる意欲を高める。 | ◆地域に笑顔と元気を届けようプロジェクト ・全校でプランターに花を育て、それを地域のお年寄りの家庭に届ける。 ・お年寄りを「秋の集い」のなべっこに招待し、食事をともにする。 ・年賀状を制作し、お年寄りに届ける。 ・活動について、学校だよりを通じて家庭や地域に情報発信する。 |
| 12 | 睦合小学校 | ◇福祉やボランティアについて考え、実際に活動することで、思いやりの心や自発的にボランティア活動をしようとする心を育てる。 | ◆サツマイモの苗植付けと鉢及びプランターへベゴニアの苗植付け作業 ◆ベゴニアのプランター贈呈(睦合保育所、花むつみ、十文字西公民館) ◆農園収穫祭(さつま芋掘り)と花むつみへサツマイモ贈呈 ◆4年生花むつみ訪問 ◆1, 6年生花むつみ訪問(クリスマスプレゼント贈呈) |
| 13 | 山内小学校 | ◇思いやりの心をもち、感性豊かな子ども | ◆さんない保育園との交流活動 ◆ふれあいの手紙活動 ◆祖父母との交流活動 |
| 14 | 大雄小学校 | ◇さまざまな体験や交流を通して、福祉やボランティア、地域共生のあり方を考え、積極的に地域の人々と関わっていこうとする。 | ◆学習発表会へ的高齢者及び福祉施設へのご招待 ◆マラソンなべっこ会での福祉施設や地域の方々との交流活動 ◆福祉施設への訪問交流活動 ◆押し花作りでの作品や学校田生産米などを各施設へ贈呈 ◆文化的行事や総合的な学習の時間等への招待や交流活動 |

| No. | 学校名 | 活動目標 | 主な活動内容 |
|-----|---------|--|--|
| 15 | 横手南中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ボランティア活動を通して、社会の中でともに生きるために必要となる健全な勤労・奉仕の精神と公德心を育む。 ◇計画立案時の話し合い活動や計画の実践をとおし様々な人と関わりながら、協力して学校生活の充実を図ろうとする自主的、実践的態度を育てる。 ◇地区生徒会単位での活動を行うことにより、自分の住むふるさとの現状を見つめ、ふるさとの発展に主体的に関わろうとする意欲の向上を図る。 ◇小中連携による異学年交流の縦割り班での活動をとおして、生徒の社会性や人間関係を育てる機会や場とする。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆地区生徒会ごとに、小学生と一緒にどのようなボランティア活動ができるのか話し合い、活動内容を検討する。 ◆地区代表者(町内会長さん等)と連絡を取り、ボランティア活動への協力を依頼し、活動についての地域からの要望を確認する。 ◆地域住民や保護者の方々へも活動についてお知らせして、参加を呼びかける。 ◆中学生全員と学区内の4小学校の5・6年生児童が、それぞれの地域ボランティア活動に取り組む。 |
| 16 | 横手北中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ボランティア活動を通しておもいやりの心を醸成し、発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティア活動への積極的な参加と成果の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・横手支援学校との交流活動への参加 ・横手川クリーンアップへの積極的参加 ・情事のボランティア活動の充実(教室の棚拭き・窓ふき) ◆上記活動を盛り上げるための掲示・広告スペースの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなボランティア活動の様子を校内外に発信し、北中や地域に笑顔や元気を発信するため掲示板や看板 ◆おもいやりの心を校内外に発信するボランティア新聞の作成と配布 <ul style="list-style-type: none"> ・活動への参加の呼びかけや参加後の感想をとりまとめた新聞を福祉委員会が作成する。 ・全校生徒だけでなく地域の公民館や小学校等にも配布し、おもいやりの心を積極的に発信する。 |
| 17 | 増田中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ◇福祉活動やボランティア、地域貢献・交流活動を通して、福祉や地域への関心を高めながら、「共に生きる力」を育むことができる。 ◇活動を通して、ボランティアの本当の意味を知ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆地域の伝統行事への積極的な参加。 ◆福祉委員会による、各種募金活動とリンゴ祭におけるゆるキャラを使った募金活動。 ◆学活や技術家庭科での老人ホームや保育園への訪問活動や、吹奏楽部による施設への慰問活動。 ◆通学区清掃ボランティア ◆重伝建や蔵史めぐりにおける、案内・説明等のボランティア。 ◆冬場の独居老人宅の白レンジャーによる除雪ボランティア。 |
| 18 | 平鹿中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ◇福祉の心を育てる学習やボランティア活動を通して、周囲や地域の役に立つことの大切さを学んだり喜びを味わったりしながら「福祉の心」を育てる。 ◇ボランティア活動を通して、周囲や地域と自分とのつながりの大切さをとらえ、誰に対しても思いやりの心をもって接する態度を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆福祉の心を育てる授業や活動(特別な教科「道徳」の授業、特別活動総合的な学習の時間等) ◆ボランティア活動(浅舞八幡神社祭典ボランティア・保育園ボランティア・あやめ祭りボランティア・各地区夏祭りボランティア・槻木ファンタジー点灯式ボランティア他) ◆「あ・や・めグリーティング運動」(小・中連携によるあいさつ運動) |
| 19 | 横手明峰中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ◇MHR(Meiho Heart-warming Relationship)活動のさらなる充実と福祉的な心情の醸成 ◇生徒のボランティアマインドの喚起。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆MHR days 2019 あいさつ活動(地域の3小学校と雄物川高にて) ◆「緑の募金」活動・「赤い羽根共同募金」 ◆地域や市内各所でのボランティア活動への参加など |
| 20 | 十文字中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ◇地域の方々と積極的に交流して、共に笑顔になれる活動の輪を広げる。 ◇自分達にできる身近なボランティア活動を計画したり、他機関が計画したボランティア活動に協力したりして、積極的に活動する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆地域の福祉施設を訪問して、歌や演奏等で高齢者の方々と交流する。 ◆地域の高齢者の方々と訪問して、鉢植えの花をプレゼントする。 ◆地域の行事に積極的に参加して、盛り上げる。 ◆地域での、赤い羽根等の街頭募金活動に取り組む。 |

| No. | 学校名 | 活動目標 | 主な活動内容 |
|-----|---------------|---|---|
| 21 | 横手高校 定時制課程 | ◇生徒が主体的に運営する「おらほの避難所～災害弱者への支援」の避難所運営（開設・数日経過後）訓練を通じて、単なる避難者ではなく、むしろ災害弱者を支援する側であることを生徒に自覚させながら自発的な防災教育に取り組む。 | ◆併設している県立衛生看護学院や地域住民、関係機関および各種団体と連携し、お互い顔が見える訓練を継続している。 ◆夏季、冬季と環境の変化が大きく、特に冬季の積雪を想定した訓練を実施している。 ◆地域の連携を重視しており、活動上、有益な情報を交換し、災害が発生した場合の協力体制の確立を目指している。 ◆日本防災士会秋田県支部、横手市社会福祉協議会との連携も重視し、ボランティアセンターの立ち上げ等も訓練に取り入れている。 |
| 22 | 横手清陵学院 高校 | ◇「自分たちの技術が誰かのために役にたつ」ということを身をもって体験し、まだ見ぬ方々の喜ぶ顔を想像しながら、決して「ものづくり」は手を抜いてはいけないものだということも学びます。 ◇地域のために活動を行い、生徒達は「モノの大切さ」と「奉仕の精神」を学び、「国際感覚」「達成感」等を実感することになります。 | ◆お世話になった小中学校を対象に必要とされているものを製作（なべっこ用ガンガン等）の修理ボランティアを行います。 ◆不要になった車いすを引き取り、一度分解して部品の洗浄やタイヤ交換、錆び取りなどの整備と壊れた箇所を修理し再度組み立てる。安全点検の後、アジアの各地区へ送れるよう梱包まで行います。 |
| 23 | 増田高校 | ◇地域福祉に貢献することを目指し、確実な介護知識・技能を身につける。 | ◆本校の生活福祉系列・福祉選択者の3年生は、介護職員初任者研修を受講しており、身体介護技術の実技指導や施設実習を通して、実践的な技術の習熟を目指している。また、外部講師として医療機関等の専門職を複数人授業に招くことにより、生徒の専門的知識・技能のさらなる修養を図っている。加えて2年生においても、福祉科目を履修している生徒がおり、福祉に対する興味・関心を高めるため、手話講師による授業等を取り入れている。 |
| 24 | 雄物川高校 | ◇高齢者や障がい者の方々の方々の生活について理解を深め、共生の心を育むとともに、奉仕の精神と行動力を身に付ける。また、地域の福祉に関わる諸課題に目を向け、それを解決しようとする態度を身に付ける。 | ◆1年「家庭総合」や2・3年「生活福祉コース」での学習における体験的学習や実習、外部講師による講座の実施。 ◆主にJRC同好会員による地域の高齢者との交流活動。（施設への訪問や敬老会でのボランティア活動等） ◆施設訪問などのボランティア活動について掲示物などを作成して報告し、全校生徒に発信する活動。 |
| 25 | 横手支援学校 | ◇近隣の学校や地域の方々と関わることを通じて人を大切に思う心を育てる。 ◇自分たちでできることを実践しようとする態度を育てる。 | ◆4施設（むつみ保育園、阿桜園、太陽の園、本校）合同避難訓練 ◆親子ふれあいデーで横手清陵学院吹奏楽部との交流 ◆横手市の地域行事「よこてシティマラソン」「かまくら」等への参加（横手公園にかまくらを作り、観光客をもてなす） ◆本校創立40周年記念事業に係る交流活動 ◆北都銀行バトミントン部との交流活動 ◆フットサル交流活動 ◆保育所及び横手市内小中学校との交流活動 |